

令和4年度 山形市立滝山小学校の教育

関連法規等

- 日本国憲法
- 教育基本法
- 学校教育法
- 同施行令及び施行規則
- 学習指導要領
- 第2期教育振興基本計画
- 第3次県総合発展計画
- 第6次県教育振興計画(後期)

「人間力に満ちあふれ山形の未来をひらく人づくり」

- 山形市教育大綱

「郷土を誇りに思い いのちが輝く人づくり」
～山形らしさの継承 発展 そして発信～

- 山形市教育振興基本計画
- 山形市学校教育指導の方針

学校教育目標

ゆたかな心で 自ら学ぶ たくましい 子どもの育成
【やさしく かしく たくましく】

【やさしく】
自他を尊重し、相手を思いやり、共に生きる子

【かしく】
予想を立て、筋道を通して考え表現し、確かめる子

【たくましく】
めあてを持ち、進んで取り組み、自分の力を高める子

————— キーワード：「つくる」 —————

めざす学校像

- ◇ 子どもにとって **主体的な学びと「あい」がある学校**
- ◇ 保護者・地域にとって **地域とともに歩む信頼できる学校**
- ◇ 教職員にとって **自分も通いたい学校**

地域・児童の実態等

- 創立132周年(M23創立)
- 広範囲の学区
- 地域の古い歴史と建造物
- 学区内に東北芸術工科大学
- 住宅地への変貌(田畑減少)
- 安心・安全なまちづくり

- 多種多様な家庭教育力
- 頼りがちな児童
- 特別な配慮を必要とする児童の増加
- ソーシャルスキル能力育成が必要
- 探究的に学ぶ力の育成が必要

学校経営の重点

「子どもの育ち」を真ん中においた学校をつくる

経営コンセプト(全体を貫く統一的な視点や考え方)

- ◇主体的・対話的で深い学びで「学び続ける個」を育てる
- ◇子ども自身によるPDCAで「粘り強い個」を育てる
- ◇特別支援教育・教育相談で「相手を思える個」を育てる
- ◇学年、カリキュラムを担当団がつくる
- ◇よりよい学校生活(学び・活動・つながり)を、子どもがつくる
- ◇探究し続ける総合・生活科を、子どもがつくる

1 「学び続ける個」を育む校内研究の推進、カリキュラム・マネジメントの充実

- ① 公開研究発表会を日々の授業改善の一場面と捉え、一人一人が、日々研究計画に沿って授業改善を行う。
- ② 研究授業は事前研を重視し、育てたい子ども像をイメージして教材研究・指導案作成・事前授業をチームで行う。
- ③ カリキュラムの実施状況の不断の見直し・改善に努め、資質・能力を育む単元構成と授業づくりを進める。
- ④ 子どもから始まる総合・生活科と教科横断的視点をもって、共通性と独自性を意識したカリキュラムをつくる。
- ⑤ 本校のOJT「TTJP(チーム滝山授業づくりプロジェクト)」を推進し、日常的に気軽に研修を進める。

※ 山形市教育委員会委嘱研究4年次 10/5 公開研究発表会

2 「相手を思える個」「粘り強い個」を育む学級経営・特別活動の充実、インクルーシブ教育の推進

- ① 常に子ども理解に努め、特別支援教育の視点をもって学級・学年を経営し、信頼し合える集団をつくる。
- ② 自分がされていやなことは相手にはしないということを基本として、「あい」のある集団づくりを行う。
- ③ 話し合い活動やPDCAサイクルを重視し、よりよい学校生活を自分たちでつくる意識を高める。
- ④ いじめやその他の諸問題の未然防止と早期発見・早期解決のために、とがみ委員会を核として組織で対応する。
- ⑤ 担任団で学年の子どもを育てるために、積極的に交換授業、教科担任制等の体制を取り入れる。

3 保護者・地域との信頼関係に基づいた地域とともに歩む学校の創造

- ① 地域のよさを体感できる学習・活動を仕組み、「私たちの地区・滝山」という誇りと自信をもてるようにする。
- ② 「子どもの育ち」が感じられるよう、学校・学年・学級での取組を積極的に地域・保護者に発信する。
- ③ 学校評価(保護者、学校評議員、児童、教職員)に改善を加え、結果を学校経営に反映できるようにする。
- ④ 令和4年度導入する学校運営協議会が、学校教育活動の活性化につながるよう進める。

チーム滝山 子どものおもい・願い・可能性を十分に引き出し、寄り添っていく

- 1 チーム滝山は、一人一人が「不易流行」で日々更新
- 2 チーム滝山は、横の「た・い・わ」と縦の「ほう・れん・そう」でしっかり連携
- 3 チーム滝山は、「のりしろ」をお互いにカバーし合って日々向上
- 4 チーム滝山は、「憧れられる最高学年」をみんなで育成

家庭・地域・関係機関との連携